

## 【意見】

市長、市議会議員、行政・監査や市、何処に原因があるかは解りませんが、あまり連携が取れていないのか、何だか計画性がないというか、思い付きで市政を運営しているようにも思います。例として、人口減少の沼田市は施設の4割を減らさなければやっていけないと前々から聞いていました。しかし中央公民館の耐震工事やエレベーターを治して頂いたので、ずっと使えるものと思っていました。また、洋式トイレを作って頂いたので高齢者も使いやすいと思いましたが、使用した方の中で「だけどシャワートイレじゃないんだよ」と聞き、この日本でまさかと思い私も座ってみました。便座が冷たいのです。暖房便座では有りません、何処まで本気でやっているのか解りません。その公民館も急に除去されました。

最初から除去する思いがあるのなら、その機能を上手く移す考えでやって欲しかったです。また新たに福祉センターにお金を掛けなければなりません。

【男性：市内在住】

## 【回答】

「施設の4割を減らさなければやっていけない」は、公共施設等総合管理計画の目標を指すものと認識します。公共施設等総合管理計画は、平成29年3月に策定し、この計画に基づき、第1期アクションプラン（個別計画）を平成30年3月に策定いたしました。中央公民館の耐震工事は、この計画策定前の平成24・25年度に利用者の安心・安全を最優先に考え実施したものですので、ご理解頂ければと思います。なお、エレベーターの更新は行っておりません。中央公民館の廃止、除却、機能分散は、第1期アクションプラン更新の際、テラス沼田、保健福祉センターを含めた類似機能を持つ施設について、機能や規模の最適化なども見据え、「多機能化・集約化・複合化・公民連携・長寿命化・機能分散」等を総合的に検討した結果であり、同時に、保健福祉センターについても、長寿命化、多機能化、複合化の方針といたしました。

保健福祉センターは、以前から予定していたとおり昨年度末をもってデイサービス施設の運営を終了したことから、今年度、多機能化、複合化の改修工事を予定しております。この改修工事が完成すると、テラス沼田とウェルプラザ（保健福祉センター）が生涯学習、保健福祉、地域づくりを包括したコミュニティセンターとして、また、中央公民館の代替施設として、多くの市民に活用されることと考えております。

これらのことは、次世代を担う子どもたちに大きな負担を残さないため、「新しい公共施設のかたちを未来につなげよう」を基本理念とする公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に実施しておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

担当：総務部財政課